

少量危険物
貯蔵取扱所
非常用発電機

消防署記入枠

相談日： 年 月 日 ()

出席者：

1. ご相談者様情報

会社名： _____

ご担当者様： _____

ご連絡先： _____

ご出席者様： _____

2. スケジュール

届出予定日： 年 月 日

着工予定日： 年 月 日

中間(配管気密)検査予定日： 月 日

完成検査予定日： 年 月 日

3. 貯蔵・取扱所の所在地及び建物情報

新築 既存 住所：千代田区 建物名： _____

設置場所： 屋外 屋内(設置階： _____ 室名： _____) 屋上

耐火造：地上 階、地下 階 用途： 項 () 建築面積： _____ m²

延べ面積： _____ m² 屋上(設置室)面積： _____ m² 警報・消火設備： _____

4. 発電設備 屋上に設ける場合はキュービクル式に限ります。

燃料： A重油 軽油 その他 () 耐震措置： _____

1時間あたりの燃料消費量： _____ L/h 最大数量： 燃 料 _____ L
潤滑油 _____ L

想定連続運転時間(BCP含む)： 24時間以上 その他 ()

倍数： 0 . 倍(合算) 発電機全出力： _____ kW キュービクル種別： _____

発電設備の保有距離(保安のための距離)： _____ mを確保

5. 燃料タンク タンク容量は、タンクの内容積の90%の量です。

タンク種別： 圧力タンク 圧力タンク以外

流出防止措置： 防油堤 キュービクル式(防油堤構造) その他 ()

タンク容量： _____ L 材質： _____ 板厚： _____

架台とタンクの耐震措置： _____ ポンプの有無と位置： _____

給油方法： ウイングポンプ 給油口BOX 地下タンク その他 ()

6. 少量危険物等の運用基準

規制の方向性：第1

屋外：第4、2 屋内：第4、3 屋上：第7、3

発電設備とタンクの設置位置の例：資料、第12

必ず予防係にも事前に相談してください。



危険物関係施設の運用基準